

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 化学療法誘発性末梢神経障害に対するフローチャートの使用状況調査と薬物療法の評価

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 薬剤部・平野結奈

[研究の概要]

■ 目的・方法（研究期間も含む）

研究期間：2024年11月19日～2025年3月31日

目的：抗がん薬による神経障害(CIPN)は白金製剤やタキサン系製剤などで起こることがある副作用であり、しびれや痛みを引き起こす。CIPNは頻度の高い副作用であるが、予防や薬物治療に関する情報は少ない。

当院ではCIPNに対する薬物療法としてフローチャートを作成しているが、それに基づいた薬物療法が十分に行えているかは確認できていない。フローチャートの使用状況とそれに伴う薬物治療の有効性を評価することで、CIPNに対して有効的な対症療法を提供していくために、本研究では、CIPNに対する薬物治療を解析することで、フローチャートの利用状況の評価と今後の課題を明らかにする。

方法：カルテを用いた後ろ向き観察研究

■ 対象となる患者さん

2024年5月21日～2024年12月31日に当院でオキサリプラチン、パクリタキセル、ドセタキセル、ビンクリスチンを使用し、化学療法を受けている方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：以下の臨床情報を診療録から取得する。

- ・病歴に関する情報（レジメン、化学療法薬の累積投与量）
- ・血液所見（ビリルビン値、AST、ALT、血清クレアチニン値、eGFR）
- ・CIPNに対する薬物治療
- ・CIPNのGrade評価

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

(様式 17)

研究番号	第 24-46
------	---------

薬剤部 平野結奈

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971